

はじめに

今やミッドレンジのスペックをもつ新フラグシップのキラーでは満足しません。新発売のOnePlusはスペックと価格をランクアップさせて、2020年に発売されるフラグシップスマートフォンと一騎打ちで戦うようです。約11万円のOnePlus 8Proには様々な素晴らしいものが搭載されています。鮮明で高解像度、120Hzのリフレッシュレートのディスプレイ、最新Qualcomm 865プロセッサと全て役に立つ機能なのか分からないカメラが沢山並んでいます。その上、なんと30Wのワイヤレス充電機能付きです。これは市場に出ている多くのスマートフォン用ケーブル式チャージャーよりも高速です。この価格がつり上がった新モデルを分解して、リペアビリティはどう改善されたのか確認しましょう。

このビデオは日本語字幕付きでご覧いただけます。YouTubeにログイン後、画面右下の設定より日本語字幕を選択してください。

手順 1 — リペアビリティ



- デバイス本体を開口できたら、バッテリーは一番先に取り出せます。バッテリーの接着剤は少量で、取り出しに便利なプルタブ付きです。
- 多くのコンポーネントがモジュールで、個別での交換が可能です。
- 最も修理頻度の高いディスプレイの交換は、デザイン上優先されていません。
- 全ての修理において主要アクセスとなるリアパネルは、接着剤で頑丈に固定されています。